

5 . 8.2 から 8.3 へのリリースアップに伴う修正

DLL ツールキット

- 1) DLL ローダーが、引数リストの中で配列の各要素を扱えるようになりました。これまでは、配列全体を渡すことしかできませんでした。
- 2) DLL ツールキット経由で dll へ、KBD\$や ERRM\$等、Basic の特定のストリングを渡せるようにしました。
- 3) HTBDisp.dll を使って DISP と Message 行のいずれへも出力できるようになりました。
- 4) HTBFileopen.dll を拡張して複数のファイルが選択できるようにしました。また、呼び出されるときには、常に前面に表示されるように修正しました。
- 5) HTBasicrevenge.dll を更新し解像度 800x600 の画面でも正しく動作するようになりました。
- 6) HTBLinechart.dll のサンプルを変更し、機能の概要がさらによく解るようになりました。
- 7) 非システムのモーダルメッセージボックスを使い、CSUB ツールキットで CSUB 変換された DLLs が、Basic ウィンドウの背面に表示されることがありました。Basic ウィンドウより前面に表示するには、CSUB を以下のコードを使って再コンパイルする必要があります。このコードでは、親ウィンドウへのハンドル付きのメッセージボックス機能を提供します。

```
HWND GetHandle()  
{  
    HANDLE hBasic = LoadLibrary("htbwin.exe");  
    HWND * phBasicWnd = (HWND  
        *)GetProcAddress(hBasic, "g_hBasicFrameWindow");  
    return(*phBasicWnd);  
}
```

[お問い合わせ先]

アイネット株式会社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F
Tel: 03-5623-2301 Fax: 03-5623-2305
E-Mail: sales@i2net.co.jp URL: <http://www.i2net.co.jp>